

mixpace

mixpace Webアプリ ご利用ガイド

株式会社ホロラボ



マニュアル更新履歴

※マニュアルに使用されている画像類は場合により、最新リリース版と異なる場合がございます。

ver情報	更新日	更新内容
ver1.2.0	2020/06/04	<ul style="list-style-type: none">・ GLB/USDZダウンロード機能・ mixpaceサービスの種類について変更/追記
Ver1.3.0	2020/07/02	<ul style="list-style-type: none">・ 対応機種に「iPad Pro11インチ(第1~2世代)」「iPad Pro 12.9インチ(第1~4世代)」を追記・ アクセス権限の説明を一部修正
Ver1.4.0	2021/01/20	<ul style="list-style-type: none">・ ARマーカー位置設定ツールについて追記
Ver1.5.0	2021/05/20	<ul style="list-style-type: none">・ WebアプリのUIを一部変更



mixpaceとは

mixpaceとは



「mixpace」とは、誰でも手軽に 3D CAD や BIM で作成したデータを AR/MR 対応デバイスで確認が可能なモデルに変換でき、主に設計、製造、建設、配置シミュレーション、施工、保守などの各シーンにおいて、リアルスケール及びデジタルモックアップでの活用が簡単にできるサービスです。これまで手作業で何日もかかっていた、AR/MR 向けの変換作業が、最短数分の処理で完了するので、作業時間の大幅な短縮が見込めます。詳細はこちら(<https://biz.cas.softbank.jp/mixpace>)

mixpace 対応ファイル形式

サービスタイプ	mixpace standard	mixpace standard + R mixpace trial
対応ファイル形式	.3Ds、.max、.f3D、.fbx、.ifc、.iges/igs、.step/.stp、.CATPart(CATIAV4/V5)、.jt、.obj、.dxf、.dwg、.vue	左のデータ形式すべてに加え .rvt (Revit)も利用可能

違いは、RVT(Revit)が利用可能かどうかのみ。

mixpace サービスの種類

	契約期間	登録ユーザー数	変換回数	保存データ量 上限
mixpace standard/ standard + R	1年	10名	100回/月まで	100GBまで
mixpace trial	60日	1名	50回/月まで	100GBまで

※1ファイルあたりのアップロードデータサイズは100MBを推奨しています。

お問い合わせ先

お問い合わせ内容	お問い合わせ先
ユーザーの追加と削除について ※同時登録ユーザー数の上限は、管理者を含めて計10名までです。 (trialは計1名のみ)	mixpaceお問い合わせフォーム https://mixpace.jp/contact/
新規申込・利用更新手続きについて	SB C&S 株式会社 各営業担当者まで ご連絡ください。

mixpace のデータ変換について



mixpaceは対応する3Dデータをアップロードするだけで、専用のクライアントアプリで表示可能な形式に自動で変換・最適化を行います。

ご利用ガイド 目次

標準的な使い方

1. ウェブブラウザ

- 1.1 動作環境 5
- 1.2 ログイン 6~7
- 1.3 初回パスワード再設定 7

2. クラウドサービス

- 2.1 ファイルのアップロード 8~10
- 2.2 変換済み3Dデータの削除・コピー・移動 11~12
- 2.3 GLB/USDZファイルのダウンロード 14
- 2.4 ダウンロード可能なファイル形式について 15
 - 2.4.1 GLBファイルについて
 - 2.4.2 USDZファイルについて
- 2.5 ARマーカ位置設定ツール 16~18

3. 管理者向け機能：アクセラコントロール

- 3.1 プロジェクト新規作成 19~20
- 3.2 アクセス権限の設定 21

4. 利用状況・権限設定の状況照会

22

5. お問い合わせフォーム

23

6. よくある質問

24



1. ウェブブラウザ

1. ウェブブラウザ

1.1 動作環境

mixpaceユーザー専用Webページ

デバイス	オペレーションシステム	ブラウザ(最新版をご使用ください)
Windows	Windows10	Microsoft Edge / Google Chrome
Mac	macOS 10.14(Mojave)以降	Safari / Microsoft Edge / Google Chrome
iOS	iPad (iOS12以降)	Safari

mixpaceユーザー専用Webページ「ARマーカー位置設定ツール」

デバイス	オペレーションシステム	ブラウザ(最新版をご使用ください)
Windows	Windows10	Microsoft Edge / Google Chrome
Mac	macOS 10.14(Mojave)以降	Safari / Microsoft Edge / Google Chrome

mixpace HoloLensアプリ

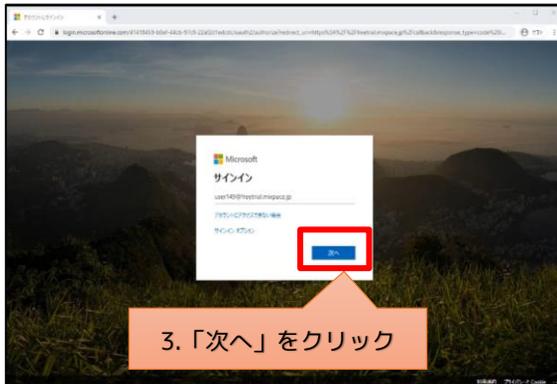
デバイス	オペレーションシステム
HoloLens 2	Windows Holographic ver 2004(OSビルド:10.0.19041.1103)以降

mixpace iPad アプリ ※ただし機種によって表示機能に差が生じます。

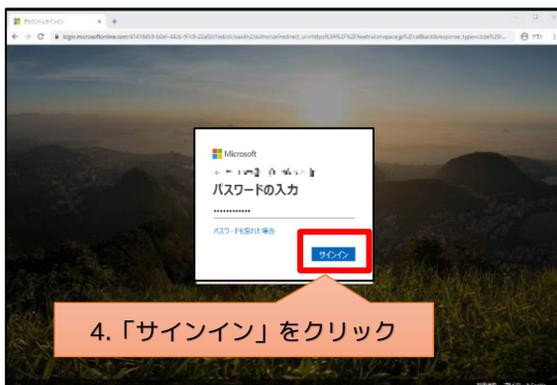
デバイス	対応機種一覧 (バージョンiOS12以降)
iPad Pro	9.7インチ・10.5インチ・11インチ(第1～2世代)・12.9インチ(第1～4世代)
iPad Air	第3世代
iPad mini	第5世代
iPad	第5世代以降

1. ウェブブラウザ

1.2 ログイン



3. ログインをクリックすると[**Microsoftサインイン**]の画面が表示されます。[mixpaceサービスご利用案内.pdf]内【3.mixpace登録ユーザーID】に記載されている[**ユーザーID (マイクロソフトアカウント)**]を入力し[次へ]をクリックします。



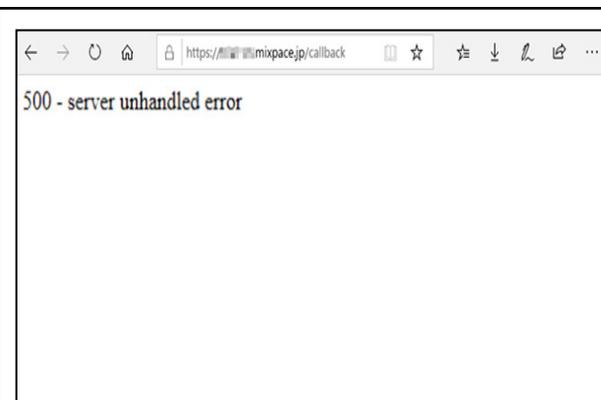
4. 初回ログインパスワードを入力し[**サインイン**]をクリックします。

1.3 初回パスワード再設定



- 初回ログイン時にパスワードの再設定を求められます。パスワードを再設定し、[**サインイン**]をクリックします。

※再設定後のパスワードは、貴社にて大切に管理・保管をお願いします。



※[**500エラー**]が表示される場合

対処法：同じWebブラウザ上で使用していたMicrosoftアカウントから完全にログアウトした後、再度mixpaceへログインして下さい。

2.クラウドサービス

2.クラウドサービス

2.1 ファイルのアップロード



1. [1.2ログイン]を参照しログインをします。

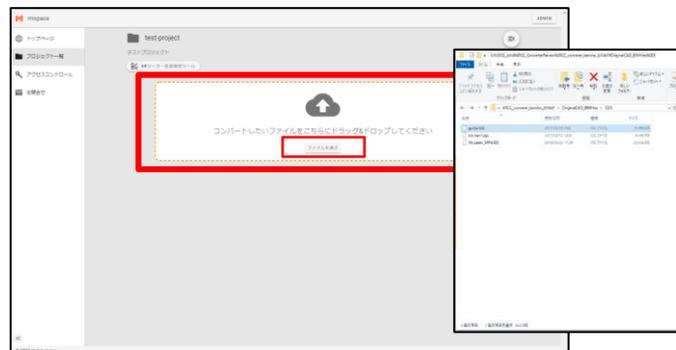


2. [プロジェクト一覧]をクリックし、アップロードしたいプロジェクトを選択します。



3. 赤枠のエリアに変換したいファイルをドラッグ&ドロップまたは[ファイルを選ぶ]ボタンで指定します。
※対応ファイル形式や推奨サイズなど詳細は製品ページをご確認ください。

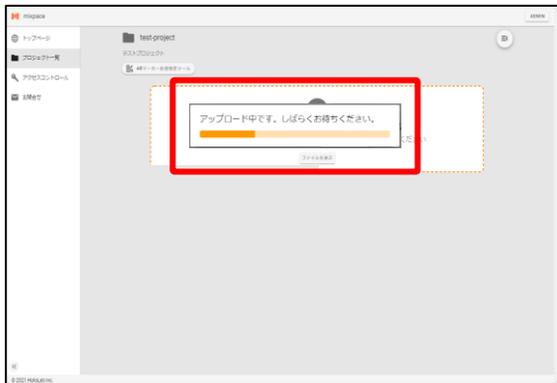
<https://biz.cas.softbank.jp/mixpace/>



2.クラウドサービス

2.クラウドサービス

2.1 ファイルのアップロード



4. アップロードが開始されると、左のような画面に変わります。
※この間、ブラウザを閉じたり他のページを開かないようにご注意ください。

2.クラウドサービス

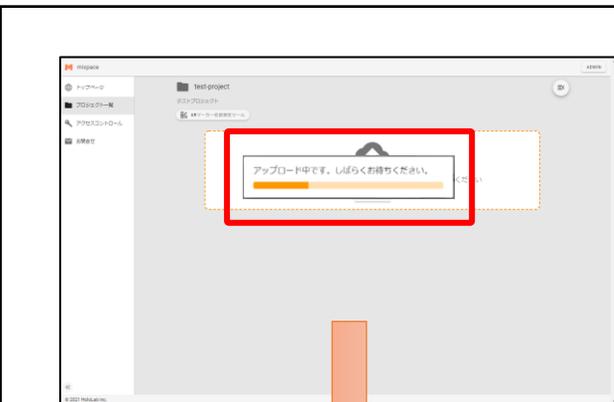
2.1 ファイルのアップロード



5. 変換処理が開始されると、左画面の表示が変わります。この状態以降はページを移動したり閉じててもサーバー側で変換が継続して行われます。表示が[完了]になると変換が完了します。



6. 画面に変換済3Dモデルのアイコンとファイル名等の情報が表示されたら、すべての処理が完了し、mixpaceアプリから変換済3Dモデルのダウンロードが可能になります。



※以下のようなエラーメッセージが表示された場合

【最適化処理中に「xxx」のコンバートに失敗しました。】

【CGデータ構築中に「xxx」のコンバートに失敗しました。】

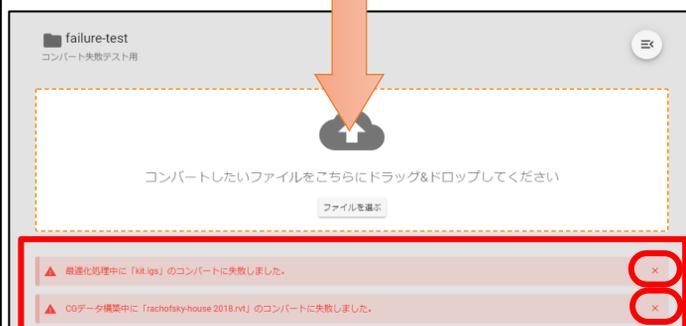
→変換に対応していないデータファイル形式がアップロードされた可能性があります。

その際是对応するデータファイルをご確認ください。

「×」をクリックすると表示が消えます。

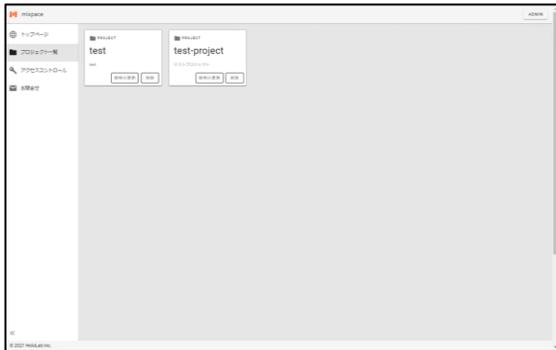
※どちらのエラーが出て変換に失敗した場合でも変換回数にはカウントされません。

変換に失敗した場合、よくあるご質問(FAQ)のページもご覧ください。 <https://mixpace.jp/faq/>

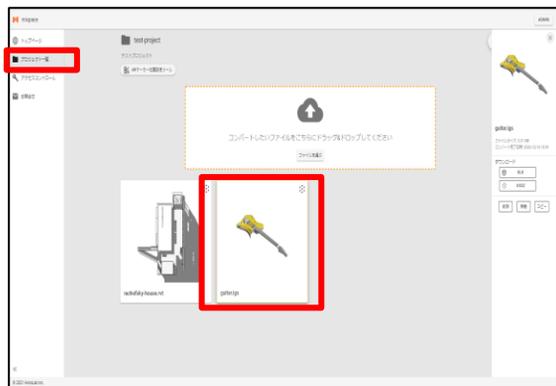


2. クラウドサービス

2.2 変換済み3Dデータの削除・コピー・移動



1. [プロジェクト一覧]から、ダウンロードしたい3Dデータが入っているプロジェクトを選択します。



2. プロジェクト詳細から、操作したい3Dデータを選択します。



3. 操作したい3Dデータの詳細が画面右側に表示されます。

削除



[削除]ボタンをクリックすることで対象3Dデータを削除できます。

2. クラウドサービス

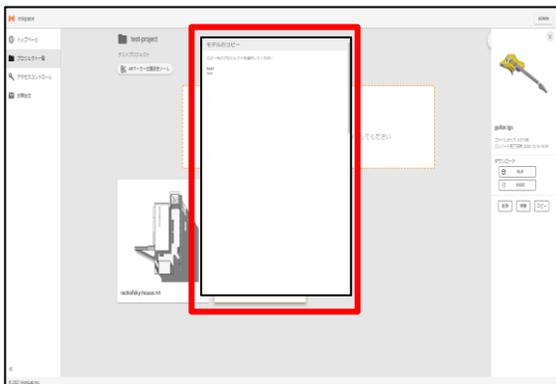
2.2 変換済み3Dデータの削除・コピー・移動

移動

1. 対象3Dデータの[移動]ボタンをクリックします。



2. プロジェクト一覧から、指定先のプロジェクトを選択すると[移動]することができます。

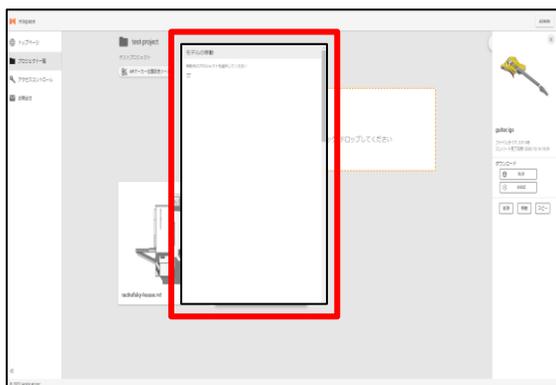


コピー

1. 対象3Dデータの[コピー]ボタンをクリックします。

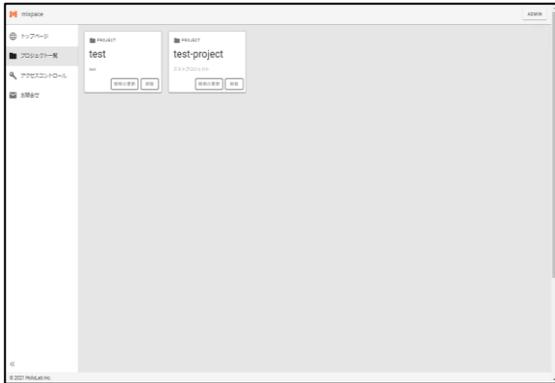


2. プロジェクト一覧から、指定先のプロジェクトを選択すると[コピー]することができます。

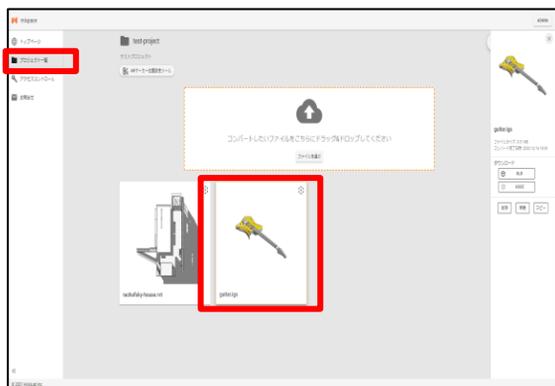


2.クラウドサービス

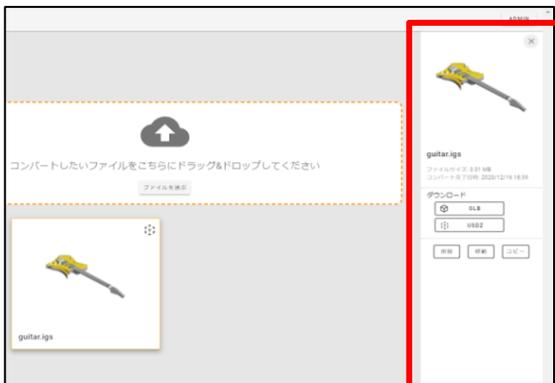
2.3 GLB/USDZファイルのダウンロード



1. [プロジェクト一覧]から、ダウンロードしたい3Dデータが入っているプロジェクトを選択します。



2. プロジェクト詳細から、ダウンロードしたい3Dデータを選択します。



3. ダウンロードしたい3Dデータの詳細が画面右側に表示されます。

2. クラウドサービス

2.3 GLB/USDZファイルのダウンロード



GLBファイルダウンロード

[GLB]ボタンをクリックすると[GLBファイル]をダウンロードできます。



USDZファイルのダウンロード（ベータ版）

[USDZ]ボタンをクリックすると[USDZファイル]をダウンロードできます。

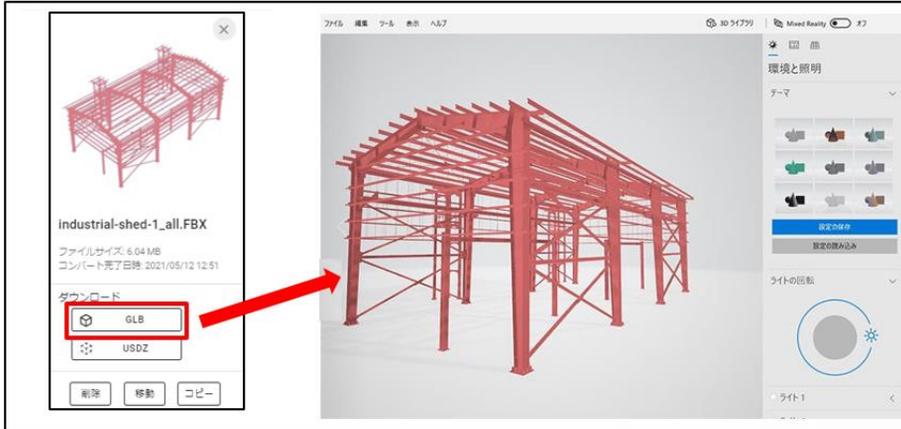
2. クラウドサービス

2.4 ダウンロード可能なファイル形式について

2.4.1 GLBファイルについて

glTF (The GL Transmission Format) 形式をバイナリーデータで保存したフォーマットです。

Windows 10標準搭載の[ペイント3D]や[3Dビューアー]等で読込・表示が可能です。



詳細は、mixpace.jpのブログ記事をご参照ください。

「mixpaceに変換済3Dデータのダウンロード機能を追加しました」 <http://mixpace.jp/blog/20200501/>

2.4.2 USDZファイルについて

Appleが提供している「AR Quick Look」で表示可能なファイル形式です。

iPhone・iPadでの利用

Safariからmixpace契約ユーザー様専用WebサイトにiPhone・iPadからアクセスしていただき、3Dデータの詳細にある[USDZ]ボタンをクリックするとUSDZ形式ファイルがダウンロードされAR Quick Lookが起動し、3DオブジェクトがAR表示されます。

* 変換後に生成されるUSDZ形式ファイルのサイズが8MB以下のファイルのみAR Quick Lookでの表示が可能です。

Macでの利用

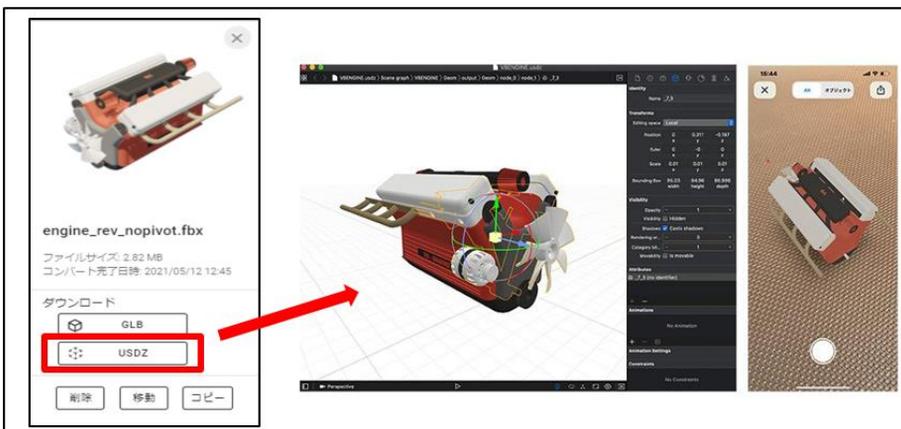
mixpace契約ユーザー様専用Webサイトにアクセスしていただき、3Dデータの詳細にある[USDZ]ボタンをクリックするとUSDZ形式ファイルがダウンロードされます。

macOS標準搭載の[クイックルック]や[Reality Composer]、開発者向けツールの[Xcode]等で読込・表示・利用が可能です。

AR Quick Lookについて

<https://developer.apple.com/jp/augmented-reality/quick-look/>

※本機能はベータ版につき、すべてのファイルやデバイスでの動作を保証するものではありません。



2.クラウドサービス

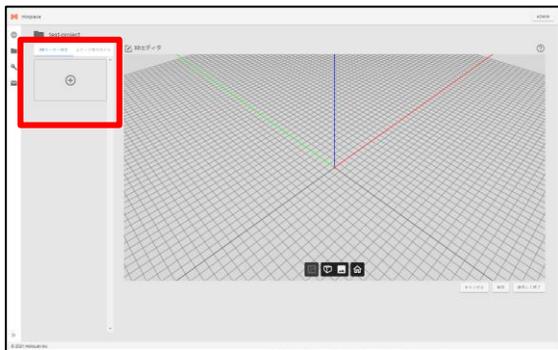
2.5 ARマーカ位置設定ツール

mixpaceでは現実空間に3Dモデルを表示する場所をARマーカを使って指定できます。また、Web側で[ARマーカ位置設定ツール]を使うことによって、位置指定ARマーカの上に3Dモデルの任意の箇所が表示されるように設定をすることができます。動画での使い方紹介：<https://youtu.be/IOobjkKkh4k>



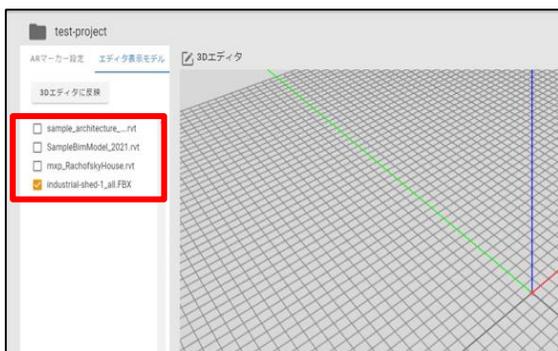
1. [プロジェクト一覧]から位置指定ARマーカを設定したいプロジェクトを選択します。

2. プロジェクトを開き、[ARマーカ位置設定ツール]ボタンをクリックします。



3. [ARマーカ位置設定ツール]の画面に切り替わります。

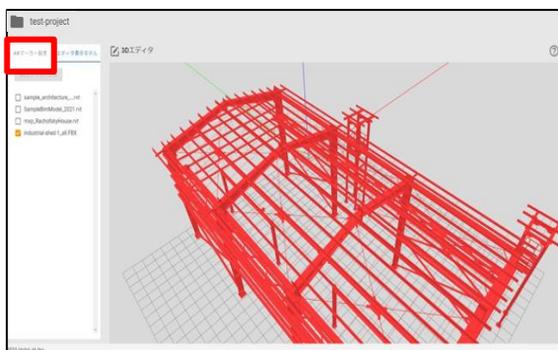
4. [エディタ表示モデル]タブを選択します。



5. 3Dエディタに表示したい3Dモデルにチェックを入れます。

6. チェックを入れたら、[3Dエディタに反映]を選択します。

※3Dモデルは複数選択することができます

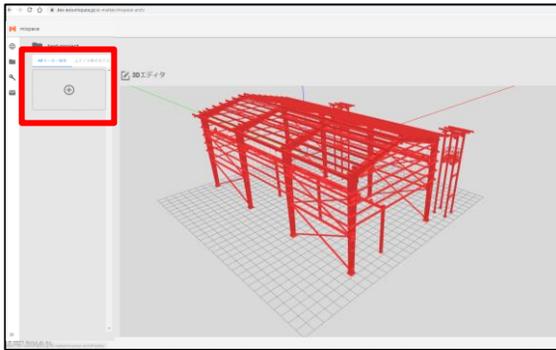


7. 3Dエディタに5.で選択したモデルが表示されます。

8. [ARマーカ位置]タブを選択します。

2.クラウドサービス

2.5 ARマーカ―位置設定ツール



9. [+]をクリックし、設定する位置指定ARマーカ―を追加します。

10. 位置指定ARマーカ―の位置を設定します。

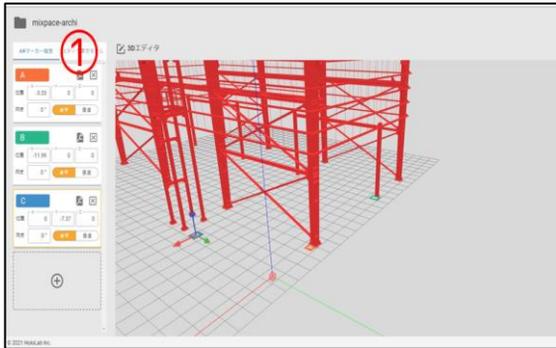
設定方法には、2つの方法があります。(単位系：m)

①：X,Y,Zの座標を数値入力する

※小数点以下の桁数制限は設けていません。

②：3Dエディタ上の操作用ギズモを直接操作する

また、①の数値入力では、ARマーカ―の配置方向[水平][垂直]の切り替えと、水平回転の角度を設定できます。

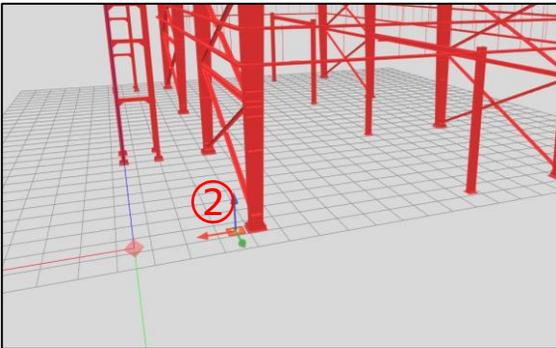


11. 9.と同じように、[+]をクリックし、位置指定ARマーカ―を必要な分だけ追加します。

位置指定ARマーカ―は一つのプロジェクトに対してA~Jまでの最大10個設定することができます。

ARマーカ―ダウンロードURL

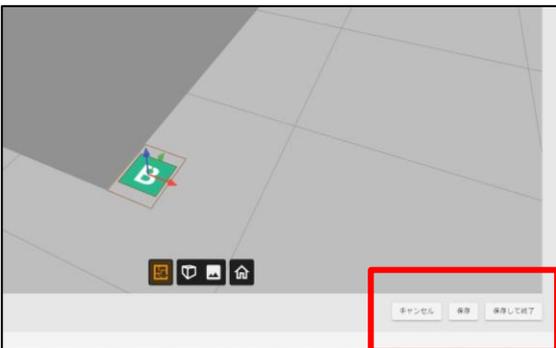
<https://mixpace.jp/howto/>



12. 位置指定ARマーカ―の位置が設定できたら、[保存]もしくは[保存して終了]を選択します。

※複数人が同時アクセスして編集した場合、最後に[保存]もしくは[保存して終了]をした際の設定が保持されます。

※[キャンセル]を選択すると設定を保存せず終了することができます。



2.クラウドサービス

2.5 ARマーカ位置設定ツール

ARマーカ位置設定ツールに搭載されているその他の機能について紹介します。



3Dエディタ



断面ビュー

任意の位置の断面を表示出来るモードです

水平/垂直切り替え
移動
回転

パースペクティブ表示

カメラをパースペクティブ表示に切り替えます

平行投影表示

カメラを平行投影表示に切り替えます

明るい背景

背景を明るいグレーに切り替えます

暗い背景

背景を暗いグレーに切り替えます

カメラ位置リセット

カメラを初期の位置へリセットします

3Dエディタ画面下部のメニューバーから下記の機能を利用することができます。

- 断面ビュー(垂直/水平)
- カメラ表示切り替え(パースペクティブ表示/平行投影表示)
- 背景切り替え(明/暗)
- カメラリセット

それぞれの使い方については、3Dエディタ右上の？マークを選択すると、下記同様の画面が表示され、いつでも確認することができます。

ARマーカ位置設定ツールについての注意事項

- ・ 設計原点から5,000mを超えて離れた位置にARマーカを設定することはできません。
- ・ 5,000mを超えない範囲で設定いただくか、制作に使用したCADまたはBIMソフトウェア上で設計原点に対する3Dモデルの位置を調整したデータをご準備ください。

3. 管理者向け機能：アクセスコントロール

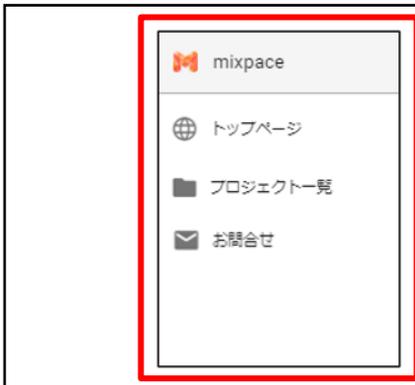
3. 管理者向け機能

3.1 プロジェクト新規作成

プロジェクト作成・管理機能はmixpace standard・mixpace standard + Rの管理者ユーザー向けの機能です。
mixpace trialでは固定プロジェクト1つのみ表示されます。
「3.1プロジェクト新規作成～3.3プロジェクトの削除」はスキップしてください。



1. ログインが完了したら、画面左下をクリックします。
上から順に[トップページ][プロジェクト一覧][アクセスコントロール][お問い合わせ]と表示されます。



一般ユーザー(管理者ユーザー以外のユーザー)のログイン後の画面は左のようになっております。
上から順に[トップページ][プロジェクト一覧][お問い合わせ]のみが表示され、[アクセスコントロール]は非表示となります。



2. [プロジェクト一覧]をクリックします。



3. 画面右上のボタンをクリックします

3. 管理者向け機能：アクセスコントロール

3.1 プロジェクト新規作成



4. [プロジェクト名]と[プロジェクトの説明]を入力し、[作成]をクリックします。



5. 新規プロジェクト作成後にもプロジェクト名・プロジェクト説明、共に変更可能です。[説明の更新]をクリックし、変更後に[更新]をクリックします。



[プロジェクト名]の入力規則

- ・英小文字と数字、ハイフン「-」のみ3文字以上、24文字以内
- ・ハイフンは先頭と末尾につけることはできません

[プロジェクトの説明]の入力規則

- ・1文字以上、60文字以内

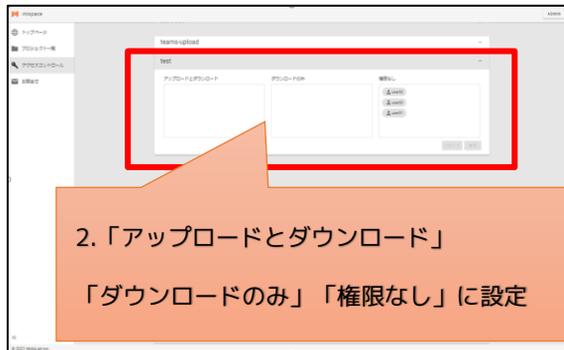
3. 管理者向け機能：アクセスコントロール

3.2 アクセス権限の設定

※管理者ユーザーは、作成したプロジェクトに他の一般ユーザーに対してもアクセス権限の設定を行うことができます
 ※デフォルトでは管理者のみアクセス権限が付与され、[アクセスコントロール]で管理者以外の登録ユーザーは「権限なし」に設定されています。



1. 画面左上[アクセスコントロール]をクリックし、アクセス権限設定したい作成済みのプロジェクトをクリックします。



2. なお、プロジェクト作成時の初期状態ではすべての一般ユーザーは権限なしに設定されています。必要に応じて、ユーザー名をそれぞれの権限のボックスにマウスでドラッグアンドドロップし、[設定]をクリックします

アクセス権限が付与されたプロジェクト内に対する操作可否

操作内容	アップロードとダウンロード	ダウンロードのみ	権限なし
プロジェクト内にアクセスできる	○	○	×
プロジェクトにファイルをアップロードしてコンバートできる	○	×	×
コンバートが完了したファイルをプロジェクトから削除できる	○	×	×
コンバートが完了したファイルを別のプロジェクトにコピーができる	○(※)	×	×
コンバートが完了したファイルを別のプロジェクトに移動ができる	○(※)	×	×
コンバートが完了したファイルをクライアントアプリ上で表示できる	○	○	×
GLBファイルをダウンロードできる	○	○	×
USDZファイルをダウンロードできる	○	○	×

※ コピー/移動先のプロジェクトに対しても権限が[アップロードとダウンロード]に設定されている場合に限る

4. 利用状況・権限設定の状況照会

4. 利用状況・権限設定の状況照会



- ・ [プロジェクト一覧]をクリックし、プロジェクトをクリックすると画面右上[利用状況/権限設定状況紹介]が表示されます。

各サービスタイプの利用制限につきましては「1.2 サービスタイプ別仕様」をご参照ください。利用状況/権限設定状況照会をそれぞれクリックすると以下の通り確認出来ます。



- ・ [利用状況]をクリックすると[今月の利用状況]を確認できます。

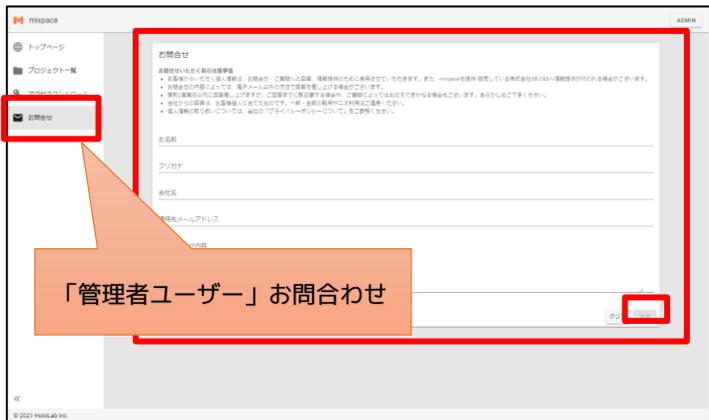


- ・ [権限設定状況照会]をクリックするとプロジェクトごとの権限設定が確認できます。

※利用量は毎月1日0:00にリセットされます。

5. お問い合わせフォーム

5. お問い合わせフォーム



[管理者ユーザー]画面

[お問い合わせ]をクリックし、お問い合わせ内容を入力後[送信]をクリックしてください。



[一般ユーザー]画面

[お問い合わせ]をクリックし、お問い合わせ内容を入力後[送信]をクリックしてください。

[お問い合わせいただく前の注意事項]をご確認の上、問合せ内容を入力し、[送信]ボタンをクリックしてください。



6. よくある質問

6. よくある質問

Q. 「mixpace standard」と「mixpace standard + R」の違いは何ですか？

A. 「mixpace standard + R」は「mixpace standard」の対応ファイルに加え、「.rvt」に対応します。

Q. 月割り料金はありますか？

A. 「mixpace standard」と「mixpace standard + R」は年契約のため月割り料金の設定はありません。「mixpace trial」は初回申込ユーザーを対象にした60日間利用可能なプランです。

Q. 「mixpace trial」の利用契約期間終了後、「mixpace trial」利用契約を延長することはできますか？

A. いいえ、延長いただけません。

Q. 「mixpace trial」の利用契約期間終了後、「mixpace standard」または「mixpace standard + R」に移行するにはどうしたらいいですか？

A. 「mixpace standard」または「mixpace standard + R」の新規申込手続きが必要です。

Q. 「mixpace standard」または「mixpace standard + R」の2年目は自動更新ですか？

A. いいえ、自動更新ではありません。継続をご希望の場合は、あらためて更新利用申込が必要です。

Q. 2D CADからの変換には対応していますか？

A. 現在対応しておりません。

Q. 契約期間終了後、3Dデータは消えてしまいますか？

A. mixpace HoloLens/mixpace iPadアプリでの貴社利用者ID、パスワードを用いたオンラインでのログインができなくなります。

ただし、mixpace HoloLens/mixpace iPadアプリで貴社利用者IDとパスワードが保存されている場合のみ、オフラインモードでローカル保存された変換済3Dデータはそのまま表示することが可能です。

一度ログイン時の利用者IDとパスワードを保存せず消去、またはアプリの再インストールを行うと、契約期間終了後は再度ログインできなくなり、ローカル保存された変換済3Dデータは消去されます。

Q. 「mixpace standard」または「mixpace standard + R」のユーザーの追加や削除はできますか？

A. はい、mixpaceお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

Q. HoloLens（第1世代）で利用できますか？

A. いいえ、HoloLens 2のみ対応しています。

mixpaceについてよくあるご質問(FAQ)のページはこちらから <https://mixpace.jp/faq/>